

開講大学	科目名	担 当 者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
連携	市川学Ⅰ (市川の文化と環境)	オムニバス	前期・春学期	選択	講義	2
〔授業のねらい〕 大学コンソーシアム市川に参加する6大学の共同開発による授業。市川学Ⅰでは、市川の歴史と文化、自然や環境問題をテーマとする。市川市域は古くから人々が住みつき、特色ある文化を発達させてきた。また、市川市は都市化されているが、地域により豊かな自然環境が残され、多様な生物が生息している。それらについて理解し「地域つながり力」を持つための方法を学ぶ。市川市の理解を深めるためには、市川学Ⅰ、Ⅱとも履修することが望ましい。						
〔学修成果(達成目標)及び成績評価の方法〕 学修成果(達成目標)； 課題をまとめ、自らの考えを述べられる。 自らの置かれた地域社会についてさまざまなことを知る。 成績評価の方法； レポート80％ 学習内容を的確にまとめ、論理的に自分の考察を述べているか。 受講態度20％ 各講座の課題を期限内に提出する。						
〔教科書・参考書〕 教科書： なし 参考書： 市川市教育委員会編『図説市川の歴史』						
〔その他〕 授業の会場が常に変わるので、学内掲示等で確認しておくこと。						
〔授業の内容・スケジュール〕			〔準備学習の内容〕			
1	市川の歴史～貝塚と縄文時代の暮らし、近世、近代以降の発展～ 千葉商科大学教授 朽木量		事前学習： 市川市内の3つの国指定史跡の貝塚、行徳の歴史について調べる 事後学習： 所定のワークシートに学習結果をまとめる			
2	市川と古典文学～手児奈伝承から源氏物語まで～ 和洋女子大学准教授 太田敦子		事前学習： 真間の手児奈伝承について調査する 事後学習： 所定のワークシートに学習結果をまとめる			
3	市川の民俗～市川の伝承とパワースポット～ 和洋女子大学准教授 加藤紫識		事前学習： 市川市域の「不思議な話」について調べる 事後学習： リアクションペーパーに講義についての感想、意見をまとめて提出する			
4	市川市の野生生物対策について 市川市 環境部 自然環境課 自然環境政策専門員 鈴木弘行 市川市 環境部 自然環境課 竹内こころ		事前学習： 市川市の動植物（特に野鳥）について調べる 事後学習： 所定のワークシートに学習結果をまとめる			
5	文学の誕生地、市川～日本文学と市川の「今」～ 東京科学大学教授 木谷真紀子		事前学習： 「市川市文学ミュージアム」のホームページを見て、市川と文学の現在について、コメントシートに記入する 事後学習： 所定のワークシートに学習結果をまとめる			
6	市川の水文環境 千葉商科大学教授 杉田文		事前学習： 市川市の水文環境について調べる 事後学習： 所定のワークシートに学習結果をまとめる			
7	じゅんさい池緑地の自然 ※フィールドワーク 千葉商科大学教授 杉田文		事前学習： じゅんさい池緑地の自然について調べる 事後学習： 所定のワークシートに学習結果をまとめる			
8	市川の地形と災害 千葉商科大学教授 吉竹弘行		事前学習： 市川市の地形と災害について調べる 事後学習： 所定のワークシートに学習結果をまとめる			
9	市川と環境問題 千葉商科大学教授 杉本卓也		事前学習： 市川市の環境問題について調べる 事後学習： 所定のワークシートに学習結果をまとめる			
10	信仰の場としての市川、下総国府と国分寺 千葉商科大学教授 朽木量		事前学習： 下総国府・国分寺・国分尼寺、中山法華経寺・弘法寺について調べる 事後学習： 所定のワークシートに学習結果をまとめる			
11	現地踏査～大町自然公園～ 学芸員、千葉商科大学教授 朽木量		事前学習： 現地踏査するすべての施設について下調べをする 事後学習： 現地踏査の結果をレポートにまとめる			
12	現地踏査～市川市自然博物館～ 学芸員、千葉商科大学教授 朽木量		事前学習： 現地踏査するすべての施設について下調べをする 事後学習： 現地踏査の結果をレポートにまとめる			
13	現地踏査～下総総社址、法皇塚古墳など～ 千葉商科大学教授 朽木量		事前学習： 現地踏査するすべての施設について下調べをする 事後学習： 現地踏査の結果をレポートにまとめる			
14	現地踏査～市川考古博物館・市川歴史博物館 ～ 学芸員、千葉商科大学教授 朽木量		事前学習： 現地踏査するすべての施設について下調べをする 事後学習： 現地踏査の結果をレポートにまとめる			
15	現地踏査～市川市文学ミュージアム～ 学芸員、千葉商科大学教授 朽木量		事前学習： 現地踏査するすべての施設について下調べをする 事後学習： 現地踏査の結果をレポートにまとめる			